

- 身近な開かれた議会をめざして -

議会報告会を開催

懇談テーマ：議員定数と報酬



議会では、昨年に引き続き、議会報告会を平成23年11月29日に開催しました。会場は、郡部4会場（江花会館・島津ふれあいセンター・日東会館・東中会館）市街2会場（かみん・セントラルプラザ）の6会場で、79名の町民に参加いただきました。

議員が2班にわかれ、各班が郡部2会場（9時30分からと13時30分から）市街1会場（18時30分から）を分担し、開会しました。

町議会で議決された主な内容を報告の後、「議員定数と報酬」をテーマに懇談し、貴重な意見や要望が出されましたので、皆さんにお知らせします。

上富良野町議会

議会報告に意見が！

議会で平成23年9月まで議決した町の予算など、議会だよりを資料に報告し、参加者から次の貴重な意見をいただきました。

町財政

自衛隊からの税収などが、今後人口減少で減るのでは。

予約型乗り合い

タクシー

高齢者は車に乗れなくなり、交通手段がなくなるため、データをとりて運行してほしい。

定住移住

定住移住は基盤整備が必要である。光通信が決め手で、情報過疎の町は敬遠される。長期的なビジョンが欠けている。

住民会に定住移住の実態調査が依頼されたが、目的が分からない状況だった。今までの事業に結び付けて拡充することが必要である。



災害復旧

農業施設小規模基盤整備は農地の現状復旧が原則であるため、農家にとっては難しい。

まちの活性化

町内にイベントが足りない。イベントがあつて町が盛り上がる。

消費動向

消費者ニーズ調査

今回の緊急雇用創出事業が中止となったが、町内で人を見つけるべきで、空き店舗調査とセットで実施する機会をのがしてしまった。

商工振興

観光振興事業

地場産品を使った美味しく食べられる店、ゆっくり休める場所が少ないので富良野、美瑛に人が流れ通過するだけとなる。

他の真似や町に頼るだけでなく個店が努力するよう指導してほしい。商工会と観光協会への3年間の補助は、その後

の事業計画がなければ補助金を出すべきでない。

ランバダー

期間は短いため日の出公園の斜面に四季折々の花を植えて期間を延ばして欲しい。

インターネットの時代

代で新しい観光情報を専門の人が的確に提供する必要がある。

フットパス

はこれからは観光の目玉になる。

町の行財政改革

で商工観光課と農業振興課を一つにしたが、商工観光と農業は違うので分けるべきである。

見晴台公園整備

町に観光客を入れる目的であれば、お金の使い方、利用の仕方を工夫し、停まる場所ではなく、道の駅を造ってはどうか。

見晴台公園

を約9千万円で整備したのに設計変更するのは二重経費で無駄にならないか。

見晴台公園の整備より、街中に地場の美味



どの促進を入れているのか。

議会報告会

今後も続けるのであれば、町内全箇所を回り町政に反映してほしい。これまで全く無関心であつたが説明を聞いて興味があわてきた。

議会として町長と協働してまちづくりに取り組んでいないのか。

議会報告会を開催する姿勢は立派であり、これからも甘んずることのないようにしてほしい。

見晴台公園

の樹木が防風林となっていた。公園整備により風害で家屋に被害が出ている状況を理解してほしい。

公園改修

は計画が策定されてからでも遅くはない。

国への意見書

原子力発電の意見書には具体的に太陽光な



懇談「議員定数と報酬」

現在14人の議員定数と報酬について道内類似町・管内町村の状況を資料で説明し、貴重な意見をいただきました。

『議員定数は多い？少ない？』

適正

議員定数は適正だと思いが、明らかに何もしていない議員が目につくと定数削減の声が上がる。減らすべきではない。議員数を減らすことによつて、目の届かない所が発生する。

議員が減ると常任委員会の人数が減少し、委員会が機能しないことも懸念される。

多い

定数割れでも良いのではないか。議員に意欲があれば議会運営ができ町民が幸福になればよい。

今回の選挙でじっくりしないので定数を2名くらい減らしてはどうか。定数は状況に応じ減

民意をくみ取るには議員が多いほうがよいと思う。

その他の意見

市町村合併を視野に入れているのか。定数を削減して議会運営できるか、議員としての方向性を話し合っているのか。

『議員報酬はどうか？』

適正

議員報酬は、適正だと思いが、何もしていない議員が目につくと削減の声が上がる。報酬は調査などの活

議員定数については、類似町村と比較して十分検討して欲しい。

真剣にやるのであれば何人でもいい。

農家の若い人などは仕事で忙しく、他の良いと思う議員に託している。

動があるので減らさなくても良い。

安い・上げては報酬をもう少し上げて、積極的にアイデアを出してほしい。

若い人が議員活動できるぐらいの報酬があってもいい。

報酬を下げると意欲がなくなり議員のなり手がなくなる。報酬を下げてでも納得はしない。一生懸命やる人、そうでない人が出ては町民が困るのでこれからの町を考えると報酬を上げて働けば報酬も良いと思う。

多くの住民が議員定数と報酬に関心を持っているので、一考を要する時期に来ている。報酬を上げる選択肢もある。新しい有望な人が出てこない実態は否めない。

『その他の意見』

資質・責務

町民の意見に従うのでは後ろ向きになり、議会から定数と報酬を押し頑張る姿勢が欲しい。

定数、報酬の増減でなく、議員が町をどうするかの意欲がどれ位あるかで町も変わっていくのでないか。一人ひとりの資質だと思つて報酬を上げる下げではなく、一生懸命に働く人に与えることが議員のためである。人数がいてもやらなければ何もならない。

町民の意見を十分に聞き、後は「議員に任してくれ」という力強い言葉が欲しい。

い。今の議員報酬は少ないと思う。仕事の量と報酬のバランスの考慮も必要。

職業として生計できる議員報酬が必要と思う。

全議員が一枚岩となつて臨み、結果を出す仕事をすれば、必然的に定数・報酬は少なくなる。

議員の評価をしない。と活性化はしない。

人材育成

町のためを思うなら、年配の議員は後継者を育てて引き継げばよい。町政に関心を持った人を育て底辺で増やすよう努力すべきである。意欲のある人を育てる考えを持ってほしい。

その他の意見

市町村合併の動きはあるのか。

現状を打開しないとだめな状況である。



町への要望の回答

各会場で寄せられた町への要望を取りまとめ、町長に要望した回答をお知らせします。

光ケーブルによる高度情報通信社会に対応した基盤整備及び定住移住の促進

全世帯への光ケーブルの整備は約15億円程度と試算している。国では3分の1を補助する制度があるが多額の財政投資を必要とする。町内の情報インフラの格差解消に向けても、全町光ケーブル整備の重要性を十分認識している。

定住移住対策は、専門ホームページの開設、移住準備住宅の整備などを中心に、今後積極的に推進していきたい。

(住民会)地区防災担当推進員の設置及び避難施設など防災体制の整備
平成24年度から住民会長連合会と連携し、地区担当防災士の設置に向けて全住民会に対し、その資格取得に要す

る費用の助成制度を設けた。

避難施設はこれまでの災害状況や、地区の人口施設の変化等を踏まえ、平成24年度中に地域防災計画を見直しする。

福祉サービスに対応した介護施設の整備及び高齢者の情報提供

町内の介護施設は、ラベンダーハイツ50床と町立病院内28床の2施設で、増設や増床は北海道が決定する仕組みで、介護施設の充実が介護保険料の負担増になるため、慎重な判断が求められる。現在策定中の第5期介護保険計画期間中は、現状規模の継続を予定しているが、今後の高齢化率の予測や地域実態を見ると、第6期計画以後は介護保険料の見直しも考慮し、施設の増設

や増床の検討を図る。

徘徊高齢者捜索ネットワークの緊急事態時の氏名公表については、今後もご家族の理解を求めたい。

生活灯のLED化など環境問題に対応した取り組みの促進整備

生活灯のLED化は、各設置町内会の希望に対応して取り組んでいく。



鹿の駆除対策・農地基盤整備及びTPP問題や足腰の強い農業の取り組み

鹿駆除のハンター確保のため、狩猟免許取得費用の一部助成を行うて担い手の確保に努める。また、鹿の農作物被害を防止する

防護柵の設置に向けて農業者・J・Aと協議を進めていく。

経営体育成基盤整備事業による用排水施設の整備は、農作物を生産するうえで、排水施設の機能強化は重要と考え、現行より機能を強化する。

TPPに参加した場合、農業経営に大きな影響がある。現時点では、安易な参加は許さないと立場を維持し、国の動向を注視する。強い地域農業のために、地域独自の農業施策も必要で、より良い地域農業の反映に努める。

プレミアムレール及びプレミアム商品券など地域経済の活性化対策
平成23年度は町内個店の販売が増え、補助金も増額した。現時点では、額の維持を基本と考え、新たな商品開発や経済活動が発展していくことを期待している。

プレミアム商品券事業は、平成23年度は実施を

見合わせたが、今後はプレミアム商品券事業も含め、商工振興対策全体の中で、商工会と検討協議を進める。

安心・安全な道路環境の整備及び道路網の整備促進

島津道路の側溝は北海道開発局と調整し実施に向け検討する。基線道路は観光バスなどの通行車両が増える実態があり、安全確保に向け生活安全推進協議会など関係機関と十分な協議を進めていく。町道の整備は優先順位を付して計画的に行う。

来年度からの除排雪は全面的に外部委託を予定し、町も道路パトロールを行うなど除排雪水準が低下しないよう努める。

上富良野小学校の改築整備による耐震化、工

対策
学校関係者や町民の代表で構成する上富良野小学校建設検討委員

会で審議を行い、基本設計がまとまった。建設予定の新校舎は、耐震機能の向上や高断熱化、自然エネルギーを利用した環境を考慮したものとす。今後は基本設計の概要をはじめ、関係する情報は町広報誌を通じてお知らせをする。

大雨災害に備えた的確な河川改修等の整備促進
平成23年度は度重なる豪雨により、町内の各所で甚大な被害が発生し、河川の改修も大きな課題である。

江花地区の河川改修は開発局から北海道への引継ぎを行ってからの河川改修事業が開始となるので、町としても早期に引継ぎを行うよう開発局に対し要望していく。

大雨災害の対応と調整については、今後も地元に対しての説明及び実態調査を行い実施していく。